

SKILL UP Inc.

DX化支援研修サービス

業務分析・品質改善編



●会社概要



株式会社スキルアップ

- ・会社名：株式会社スキルアップ
- ・所在地：〒104-0061
東京都中央区銀座1-12-4
N&E BLD.7F
- ・事業内容：教育訓練事業・DX化支援研修サービス事業
人材育成に関する講演会、企業内研修等の企画、
制作及び運営
- ・資本金：100万円
- ・設立：2024年12月2日
- ・ホームページ：<https://skillup.co.jp/>

01.提案の概要



DXとはデジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation）の略で、

デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革することを指します。

●本プログラムのポイント

① 音声データ・応対データをAIで分析し、改善につなげるスキルが身につく

- ・ツールの使い方だけでなく、音声や応対のデータを読み解き、改善提案までつなげる一連の流れを学べる構成。
- ・AIを活用した分析スキルが身につき、データに基づいた業務改善ができるようになる。
- ・テキスト化・構造分析・品質チェックといった分析の基本から応用までを段階的に習得できる。

② AIを活用した実践的なトレーニング手法を習得できる

AIを対話相手としたロールプレイにより、実際の業務に近い形での練習が可能に。

チャット形式と音声対話形式の両方を体験でき、受講者一人ひとりの課題に合わせた練習環境を構築する方法を学べる。

③ 品質評価の仕組みをAIで構築できる

AIによるスコアリングで業務品質を定量的に評価する手法を習得。

評価基準のカスタマイズや新人・ベテランの比較分析など、組織的な品質管理の仕組みづくりを学べる。

④ 研修で作った仕組みをそのまま現場で活用できる

分析テンプレートやロールプレイ用プロンプトなど、研修中に作成したものをそのまま日常業務で再利用可能。

学びが一過性で終わらず、継続的な業務改善につながる実践的な構成。

●はじめに

本コースは、「音声・対応データの分析と品質改善を、AIの力で自ら実践できる人材を育てる」ことを目的に設計された実践型研修プログラムです。

単なるAIツールの操作方法にとどまらず、

- ・音声データや対応ログから改善のヒントを引き出す分析手法
- ・AIを活用した実践的なロールプレイ・トレーニングの設計方法
- ・分析や評価の手順をテンプレート化し、日常業務に定着させる方法

といった、現場で即実践できるスキルを段階的に身につけられる構成になっています。

前半では音声・対応データの分析の基礎から応用までを学びます。

音声のテキスト化、スクリプトの構造分析、品質チェック、問い合わせ・クレームの分類まで、実際のデータを使ったハンズオンを通じて分析力を養います。

後半ではAIを活用したロールプレイとスコアリングによる品質評価を習得し、データの読み解きと実践トレーニングの両輪で、対応品質の継続的な向上サイクルを自分自身で回せる力を養います。

ゴール

本コースを修了することで、受講者は音声・対応データの分析・品質評価・改善レポート作成をAIを活用して自ら実践でき、さらにAIを活用したロールプレイによる対応トレーニングとスコアリングによる品質の定量評価を日常業務に組み込める状態を目指します。

研修で作成した分析テンプレートやプロンプトは、そのまま現場で継続的に活用できます。

業務分析・品質改善編で学ぶAI

ChatGPT（音声対話機能 / データ分析機能 / カスタムGPT）

●なぜ今、AI研修なのか

01. ChatGPTの登場

この1～2年で生成AIの利便性が圧倒的に向上しました。

02. デジタル人材育成

デジタル人材の育成は、今や企業にとって最重要課題です。

03. 国の支援

国は500億円規模の予算を投じて、人材育成を支援しています。

●ご利用企業例

AIを使っているが活用に不安

主に複数のAIツールの掛け合わせについて学びます

最近、業務が忙しく余裕がない

AIで業務効率化し、時間とリソースを最大化

現場で役立つAIスキルを習得したい

実践AIスキルを短時間で習得し即戦力に

02.研修サービスの概要



弊社の研修サービスでは、デジタル・AI技術を身近なものにしてビジネスに活かす方法をご提案します。

業務効率化から動画制作まで、AIの便利さを実感していただける内容となり

手軽に学べて、すぐ実践できる、そんなプログラムをご用意しています。

●研修内容

AIを活用した音声・応対データの分析力と品質改善力を、基礎から実務定着まで一貫して習得できるプログラムです。

実務に沿った学習設計

音声データの分析からロールプレイまで、実際の業務フローに沿った順序で学べる。基礎操作と業務応用を2段階で学ぶ構成により、着実にスキルが定着する。

実務直結の分析スキル

応対データの分類・傾向分析・レポート作成など、現場ですぐに活かせる分析手法を習得。データに基づく改善提案ができるようになる。

AIを活用した実践トレーニング

AIとのロールプレイを通じて、実際の業務に近い形で実践力を高められる。シナリオのカスタマイズにより、受講者の課題に合わせた効率的なスキルアップが可能。

業務分析・品質改善編

主に学び、習得できること

- ・分析テンプレートやプロンプトを研修中に作成し、そのまま業務で再利用可能
- ・学んだスキルが継続的な品質改善につながる
- ・音声・応対データの分析力と実践力の両面から業務品質を向上
- ・AIを活用した品質管理の仕組みづくりまで学べる

定型化で学びを 現場に持ち帰る

コース概略

本コースは、AI基礎・分析基礎・分析応用・ロールプレイ基礎・ロールプレイ応用の全5章で構成。音声・応対データの分析力と実践力の両面から、業務品質の向上を支援する実践型プログラムです。

●構成の工夫

従来の研修課題

内容が硬すぎる

頭に入ってこない

活用シーンを想像できない

当社のDX化支援研修サービス

興味喚起

疑似体験

実体験

発見・想像

一般的な研修でありがちな飽きやすい、活用につながりにくいといった課題を解消するため、受講者が実際の活用イメージを描きやすい工夫を随所に取り入れました。結果として、楽しみながら自然にスキルの応用力が身につく内容となっています。

● 「知る（知識）」を「使える（知恵・技術）」に変える実践研修

"知っている"と"使える"は全然違います。この研修では、実際の業務データを使って手を動かしながら、現場で再現できるスキルを身につけていきます

プロンプトのちょっとした工夫で、AIの出力が大きく変わるんです。そのコツを一つひとつ実践しながらお伝えしますね



●研修カリキュラム

- 全5章構成
- 標準学習時間：15時間
- 基礎から応用へ段階的にスキルアップ

1章	2章	3章
<p>【章の目的】 ・生成AIの仕組みとプロンプト設計の型を理解する。</p> <p>【学べる事】 ・音声・応対データの要約・要点抽出をAIで実践する方法を身につけられます。</p>	<p>【章の目的】 ・音声データをAIでテキスト化し、構造的に分析する手法を学ぶ。</p> <p>【学べる事】 ・応対ログの品質チェックと改善レポートの作成方法を身につけられます。</p>	<p>【章の目的】 ・問い合わせ・クレームの分類と多角的なデータ分析を実務に組み込む。</p> <p>【学べる事】 ・レポートの自動生成テンプレートを構築し、業務で活用する方法を身につけられます。</p>
4章	5章	
<p>【章の目的】 ・AIを活用したロールプレイの基本操作とフィードバック活用を学ぶ。</p> <p>【学べる事】 ・AIとのロールプレイを自分で設計・実施する方法を身につけられます。</p>	<p>【章の目的】 ・課題に合わせた練習環境の構築とスコアリングによる品質評価を学ぶ。</p> <p>【学べる事】 ・現場で使えるテンプレートとスコアリング運用フローの設計方法を身につけられます。</p>	

●LMS機能付きプラットフォームについて

※ 直感的に操作が可能なプラットフォーム設計・受講を完了した証として、修了証明書が発行されます

01

直観的に分かりやすいデザイン

お客様からも「直観的に分かりやすい」という評価を多数いただいています

02

結果の管理

受講者ごとの学習進捗はもちろん、視聴日時の記録をCSVデータで出力が可能です

03

飛ばし見防止機能付き

受講者にしっかり学んで頂くため、初回のみ飛ばし見防止が作動する設計です



03. サービス料金等



実際のサービス料金、助成金の利用や流れについてご説明いたします。

●サービス料金（受講料金）：業務分析・品質改善編

- 全5章構成
- 標準学習時間：約15時間
- 基礎から応用へ段階的にスキルアップ
- AIの利活用に特化した研修をパッケージ化し**LMS機能**（学習管理システム）を有したeラーニング動画形式
- 動画視聴後は日常業務にAIを取り入れて取り組むことが容易となり、貴社の業務効率化を強力にバックアップ

1人：36万円（税別）

●助成金について

対象の助成金：

人材開発支援助成金

事業展開等リスクリング支援コース

助成金を活用することで、研修費用の負担を最大75%
軽減。企業がAI人材育成に取り組む絶好のチャンスです。

01. 助成金の対象

新たな商品サービスの提供や新分野進出、DX化による業務効率化が対象

02. 年間最大助成額

1事業所あたり1億円

03. 助成率

中小企業75%、大企業60%と高い助成率

04. 従業員1人あたりの経費助成限度額

研修10時間～100時間の場合、中小企業30万円、大企業20万円

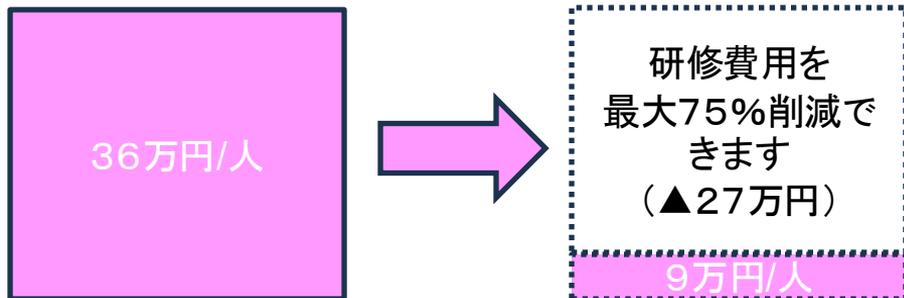
●助成金について

助成率・助成額について

助成金の活用

厚生労働省の「人材開発支援助成金—事業展開等リスクリング支援コース」の申請が可能

※研修費用の最大75%が助成金として支給されるため実質的な費用負担が軽減
助成金を利用しない場合36万円/人（税別）



大企業は最大60%も助成となります（▲216,000円）

●助成金について

ご契約から助成金入金までの流れ





THANK YOU.



資料請求いただきありがとうございました。

貴社のDX化推進のお力になれば幸いです。

